

M.H. 英語英文学科・2 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

高校生の時から中国人の友達がいたので、中国語に興味を持っていました。その上英語と中国語が話せたら将来世界中で働けるようになると思い、台湾への留学を決心しました。高雄大学を選んだ理由は、日本人が少ないので日本語を使う機会を減らせると思ったからです。

② 留学を目指してから出願までの英語・中国語学習方法

私は英語英文学科の AES クラスに所属しているので、日々の授業は英語を中心に行っていました。そのため英語を話す事への抵抗感はありませんでした。洋楽を聞いたり洋画を見たり海外の YouTube を見る事が日課だったので、TOEIC や IELTS などの座学勉強はせずに趣味として英語を楽しく勉強していました。中国語は、1 年生の時から第 2 言語選択で学習していました。毎回の宿題プリントの裏面に中国語で日記を書いて先生に添削をしてもらっていました。また先生とラインを交換して自習学習で分からないところをすぐに聞くようにしていました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

留学決定後は、まず IELTS を受験しました。その後、実家の近くの病院で健康診断を受けました。そして大阪へ行って留学ビザを取得しました（申請から取得まで 1 週間くらいかかります）。渡航 1 か月前くらいに航空券の予約と寮の抽選に応募しました。同時に現地学生のバディも決定したので分からないことを聞いたりしていました。寮が決まった後は授業の予備登録をしていました。他の留学する学生は就職活動のこともしっかり計画していましたが、私は特に何もませんでした。

④ 現地到着後

高雄国際空港に到着したら、すぐに大学の看板を持った国際課の先生とバディが出迎えてくれました。その後すぐにバスに乗って大学に行きました。私は日本にいるときに高雄大学の寮にベッド用のマットレス・布団・枕を運んでくれるように購入/手配していましたが、そのマットレスセットは私が日本に帰国するまで現れることはありませんでした。当日からトラブルに見舞われてこれが留学かと痛感しました。

⑤ 語学研修期間（留学生のための中国語の授業について）

国立高雄大学には、外国人留学生のための中国語の授業が週 2 回あります。その授業で他の日本人や他の国の留学生と仲良くなれるらしいです。私は全く参加しなかったのですが、授業の内容や雰囲気は分かりません。ほとんどの留学生は参加していたらしいので、他の留学生と繋がりたい方、中国語を勉強したい方は参加することをお勧めします。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 履修科目

一年間で以下の 13 科目を履修しました。

- Freshman English Composition (B)
- Introduction to Western Literature
- Approaches to Literature
- English Listening and Conversation (A)
- Advanced Conversation: Current World Events
- Introducing SDGs in English
- T.V. shows in American Popular Culture
- English Conversation & Reading: High
- Advanced English Listening and Conversation (B)
- Sophomore English Composition (II)
- Taiwan and Globalization
- Advanced Conversation: American Culture through the Media
- Advanced Listening and Communication: Children' s Stories(I)

上記科目のうち、以下の 2 科目について説明します。

• Advanced Listening and Communication: Children' s Stories(I)

オールイングリッシュの授業です。アメリカの絵本を使って、子供の英語教育の現状や課題を発見します。日本の英語の絵本とアメリカの絵本でいろいろな違いがあるので面白いです。中間試験は、英語教育に関するエッセイを書きます。期末試験はエッセイ＋1 人 1 時間のプレゼンテーションです。

• Introducing SDGs in English

SDGs についてグループで学習し、学期の最後に高雄の小学校で模擬授業をします。普段の授業は英語で行われますが、模擬授業は中国語で行います。SDGs に内容を小学生に分かりやすく教える能力が求められます。

◆ 授業、レポート、定期試験

私は、全ての授業を英語で受けました。予備登録期間に台湾人教授の英語で開講される授業もいくつか試みに受講してみましたが、やはり ALL English という感じではなかったのでキャンセルしました。この大学にはアメリカ人の教授が 1 人いらっしゃったので、その教授の授業を中心に受講していました。この教授の授業は、学生は私を含めても 10 人満たない

くらいの少人数授業だったので、教授との距離も近く英語能力は格段に上がったと思います。授業も 1 人 1 時間のプレゼンテーションや毎回英語で論文を書くなど、ものすごくスパルタだったと思いますがしっかり勉強したかった私にとっては大好きな授業でした。初回のプレゼンテーションテストでは 70 点くらいしか取れず、成績は下から数えた方が早かったのですが、帰国前最後のテストは 95 点をとってクラス 1 位の成績を取ることができました。私個人の経験ですが、もし英語能力を伸ばしたいならば、台湾人の先生の英語の授業もいいのですが、アメリカなど英語を母語とした教授の授業を受講することをお勧めします。

⑦ 現地での住まい

私は 4 人部屋の学生寮に住んでいました。3 人は台湾人の現地学生で、日本人は私だけでした。私たちは部屋の中でもほとんど会話をする事無く各々生活していました。もっと交流が欲しい方であれば、寮には入寮後 2 週間以内であればルームメイトを変える事ができるので是非利用してみてください。その場合は、第二寮一階の寮長に伝えてください。寮にはキッチンがありましたがゴキブリの家になっていて全く使えないので、食堂とフードデリバリーを利用していました。私は 1 か月の予算が 2 万円くらいしかなかった限界大学生だったので 1 食 100～200 円以内で食べられる食堂をよく利用していました。食堂はバイキングなので貯金残高に合わせて量を調整していました。毎日通っていると食堂の料理を作っている料理人の年配の台湾人たちと仲良くなりました。現地学生だと留学生に分かりやすいように易しい中国語でゆっくり話してくれるかもしれませんが、食堂のお爺ちゃんとお婆ちゃんは容赦無く現地の話すスピードで話しかけてくれるので、中国語の能力が劇的に伸びました。

⑧ 長期休暇の過ごし方

冬休みは一度日本に帰って実家で暮らしました。関西空港に着いた時の幸福感は今でも覚えています。台湾では大量の課題と語学勉強のせいで、何もしていなくても涙が流れるくらい精神的に追い詰められていたので、実家でテレビを見たり、友達に会ったりすることができて本当に気分転換になりました。この一時帰国がなければ私は留学を途中で諦めていたかもしれません。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

1 年の中で楽しかったことは、小学生からの大親友と高雄で会えたことです。私は両親の声を聞いたら絶対に号泣して帰りたくなる予感がしたので留学中は親に一切電話をしませんでした（実家に帰った時は毎日夜中まで話していました）。その代わり日本にいる親友と 6

時間くらい電話をしていた事がありました。彼女は私の元気の無さを心配してくれたのか、高雄まで会いに来てくれました。会えた時は本当に嬉しかったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

辛かったことは閉鎖空間での勉強です。上記にも記載したように私は留学生の授業を受けなかったで、日本人や他の留学生の友達が全くできませんでした。そして台湾人の同級生は1人で勉強する派の人たちばかりだったので、私は毎日寮で勉強していました。ルームメイトとも話しませんし、テレビなどの娯楽もなく夜中まで勉強する日々を送っていると、寂しさとストレスでよく1人で泣いていました。しかし、私が1年を通してお世話になったアメリカ人の教授に相談した時に、「こんなに頑張っているからいつかその努力は報われる」とおっしゃって下さり、最後まで諦めずに勉強を続けました。結果、全ての単位を取得する事ができました。今でもその教授と連絡を取っています。本当に感謝しています。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

現地で友達になった人は限りなくゼロに近く、学生で今も繋がっている人はいませんが、私なりに積極的に行動して人との繋がりを築きました。日中は週5で授業の中で英語を話しまく、夜は食堂の料理人と会話したり、(営業後は特に暇らしいので長時間話してくれました)フードデリバリーの台湾人配達員がご飯を届けてくれた時に何分か雑談をしたりして、中国語を話す機会を作っていました。寮に帰ってからは英語の課題をして、北京にいる中国人の友達と中国語で夜中まで電話していました。このルーティーンを1年間続けると、英語と中国語をビジネスレベルまで伸ばす事ができました。私は俗にいうキラキラした留学生活を送ることはできませんでしたが、日本に帰国した今となっては勉強を頑張っていたよかったと思うことが多々あります。3か国語を話せるということは、自分に自信が付きま、就職活動でもとても有利になることを実感しています。留学先では長時間のプレゼンテーションやディベートを毎日のように行っていたので、積極的に発言する能力・人前で話すことへの抵抗感が無くなった・論理的思考能力・コミュニケーション能力など社会人に必要な能力を身につける事ができました。

② これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

まず、健康管理に気をつけてください。高雄は1年を通して湿度が高すぎるのと、突然寒くなったりするので風邪をひきやすいです。高雄大学の近くに病院が無いので大きな病気にかかる大変です。なので、日本から薬を持っていくことをお勧めします。留学をする目的はそれぞれだと思いますが、私はそれなりに真面目に勉強することをお勧めします。周りの日本人で中国語も英語も全く話さず、日本人同士で毎日観光だけして帰国した留学生たち

を知っていますが、留学にはやはりそれなりのお金がかかりますし、海外で勉強できる貴重な機会ですので帰国した時に頑張った良かったと思えるような留学生活を送ってほしいなと思います。

IV. 写真



高雄の中華レストラン



日本から来た親友と行った台中の商店街



海底捞という中国で有名なレストラン